

2019年1月23日

日本で最も忘れ物をするのは韓国からの観光客！／ そのワケは訪日旅行に対する「気軽さ」にアリ！？

インバウンド訪日客の忘れ物が全国のホテルや旅館の負担として悩みの種となりつつある中、忘れ物国際配送サービスを行う株式会社オー・エス・エス（以下、弊社）はこの度、2018年下半期（6月～12月）の忘れ物取り扱い実績をまとめました。本プレスリリースが、ホテルや旅館など、忘れ物対応に苦心される施設の方のお役に立てばと思います。

国別ランキング TOP3

順位	国	忘れ物数（※1）	【参考】全体の訪日人数に占める割合（※2）
1	韓国	31%	24%
2	中国	14%	26%
2	香港	14%	7%

（※1）日本国内で TUMOCA Express が取り扱った忘れ物全体に占める割合

（※2）「日本政府観光局(JNTO)」を参考「https://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/since2003_tourists.pdf」

今回の集計結果では、韓国が、訪日人数でさほど変わらない中国に 2 倍以上の差をつけてトップであったことが印象的です。そして忘れ物の内容ですが、カメラやお土産のような旅行ならではの物品が目立つ中国とは異なり、衣服や携帯、メガネ、時計といった日頃よく身に着ける物品が韓国人観光客の忘れ物には多く見受けられました。

ではなぜ、韓国人観光客の忘れ物はこれほど多いのでしょうか？そのヒントは、弊社とゲスト（韓国人観光客）とのメールのやり取りの中にありました。まず前提として、韓国人観光客は忘れ物の返送料を提示された際、配送をキャンセルする割合が他の国と比べて高い傾向にあります。以下は、配送キャンセル時の実際のゲストからのメールです。

①9月／忘れ物：財布

.....
Hi. Thank you for the reply.

I'm sorry. My friend travels to Fukuoka in November.

And he decided to bring my wallet. Thank you for your help.

②10月／忘れ物：衣服・イヤホン

Hi,

Sorry for the delay. Please put the shipping on hold. I will contact the hotel again soon when I need them, as I might go back to Japan soon.

Thanks for your help.

上記のように、自分もしくは友人が近いうちに日本へ旅行に行くのでそれまでの間ホテルで預かっておいてほしいという要望が大変多いです。どうやら韓国人観光客は、忘れ物をした時、日本旅行の予定がある身近な人を探し、旅行のついでに取って来てもらえないか頼む傾向があるようです。そしてこの背景にあるのは、日本旅行への「手軽さ・気軽さ」ではないでしょうか。日本と韓国には時差がなく、そのうえ飛行機でわずか1～2時間の距離ということもあり、韓国の人気海外旅行先として日本は常に上位に入ります。もしかすると彼らには「いつでも取りに戻れる」という感覚があり、忘れ物に対してそれほど注意を払っていないのかもしれませんが。しかし、それらの忘れ物を保管・管理しなければならないホテルや旅館にとっては、その負担は小さくありません。外国人観光客の忘れ物が増える中、ホテルや旅館は特に韓国人観光客向けの注意喚起を行うのが最も効果的と言えるでしょう。

<お問い合わせ先・取材受付先>

株式会社オー・エス・エス

住所：大阪府大阪市西区京町堀 1-7-9 東洋ビル 7F

代表電話：06-6443-6020（平日 9：00～17：00）

MAIL：info@mail.oss-inet.co.jp

会社 HP：<http://www.tumoca.com/lost-article.html>